

科目	美術	単位数	2	学年	1	学級	A～I 選択者	学科	普通科 国際教養科
----	----	-----	---	----	---	----	------------	----	--------------

学習の到達目標	1. 美術の基礎を学び、豊かな創造活動を展開させます。 2. 美を感じ取る感性を高め、表現する楽しさや完成の喜びを味わいます。そして、生涯を通して美術を愛好する心情を育てます。
使用教科書 副教材等	光村図書 美術

期	月	学習項目	学習内容の説明	
前期	4	1:オリエンテーション	年間計画、美術室使用上の注意等	
	5	2:デザイン (1)レタリング (2)色彩の基礎 (3)着色の基礎	授業で使用するプリント類を管理するファイルにデザインする (1)(2)書体と色彩の印象や効果の違いを理解する。 (3)着色の仕方を身につける。	
		6	3:絵画 (1)スケッチ・デッサン (2)様々な着色方法	(1)絵画の基礎となるスケッチ・デッサン力を身につけ、ものの見方や捉え方を学ぶ。 (2)着色のモダンテクニックを学び、表現の幅を広げる。
		7	(3)「世界を描く」	(3)今まで身につけた技法を使い、テーマとした国を表現する。 その為に、テーマの国について調べ、作品の質を高める。
	9	※随時、作品鑑賞を行う		
後期	10	1:絵画 「世界を描く」	前期の続きを行う	
	11	2:彫刻	全課題の絵画作品を入れる木枠に彫刻を施す。彫刻刀の使い方を身につけさせ、作品の良さをさらに引き出させるように、表現に応じた彫り方で彫る。	
	12			
	1	3:デザイン	傘の柄の部分の木彫する。 切り出し刀の使い方を理解する。	
	2		木材の温もりを感じる。	
3	随時作品鑑賞。			
評価の観点及び評価の方法	美術への関心・意欲・態度	意欲的に学習活動に取り組むことができたか。美的感性を生かして、主体的に表現活動に取り組み、その喜びや楽しさを味わおうとする態度を持っているか。		
	発想や構想の能力	感性や想像力をはたらかせて、自然や身の回りの造形、美術作品などのよさや美しさを感じ取ることができるか。自己の表現意図に合った方法を工夫したり構想したりすることができるか。		
	創造的な技能	創造的な表現をするために、表現材料や表現形式を選択し、効果的に生かす技能を身に付けているか。		
	鑑賞の能力	美術作品をさまざまな観点から鑑賞し、それらのよさや美しさを味わうことができるか。		
	評価方法	提出課題による評価を7割程度。小課題、および授業への取り組み、出席状況を平常点として3割程度の評価とします。		

担当教諭から	自主的に活動して、楽しみながら作品を制作してください。 *提出物は期限を厳守してください。 *備品・画材類は大切に扱ってください。
--------	----------------------------------------------------------------------